

# 日本海 & 太平洋ダクト広域オープン情報

2006年 5月21日～22日 JG0TEV 中村

21日は日本海の広範囲にわたって、22日には太平洋でダクト発生によるオープンが確認されました。

## 5月21日のダクト発生域 (推定)



- ダクト発生による4～6, 4～8エリア間オープンが確認されました。
- 17:13 JR4RUP (鳥取県東伯郡)-JG0TEV/0(新潟県長岡市) RS52-51
  - 17:19 JE9VJZ/9(富山県氷見市)-JG0TEV/0(新潟県長岡市) RS56-54
  - 17:55 JR4MDA (鳥取県米子市)-JG0TEV/0(新潟県長岡市) RS59-59
  - 17:57 JR4MDA (鳥取県米子市)-JG0TEV/0(新潟県長岡市) RS56-51
  - \*JG0TEV/0 ハンテ`i280mW, ロット`アンテナ
  - 18:01 JL4EOM/4 -JG0TEV/0(新潟県長岡市) RS59-59
  - 18:12 JR9CRJ (石川県河北郡)-JG0TEV/0(新潟県長岡市) RS57-55
  - 18:19 JF9DGS (富山県氷見市)-JG0TEV/0(新潟県長岡市) RS59-59
  - 20:47 JA9BVV (石川県珠洲市)-JH0RTC (新潟県燕市) RS59-59

JR4MDA大村さんからの情報では、4エリアからは6エリアレピーター、8エリアレピーターとも反応あり。  
JL4EOM濱本さんからの情報によると、430FMメインCQに対して、函館、八戸からSSBでの交信成立。FMで聞こえていたはず。

## 5月22日のダクト発生域 (推定)



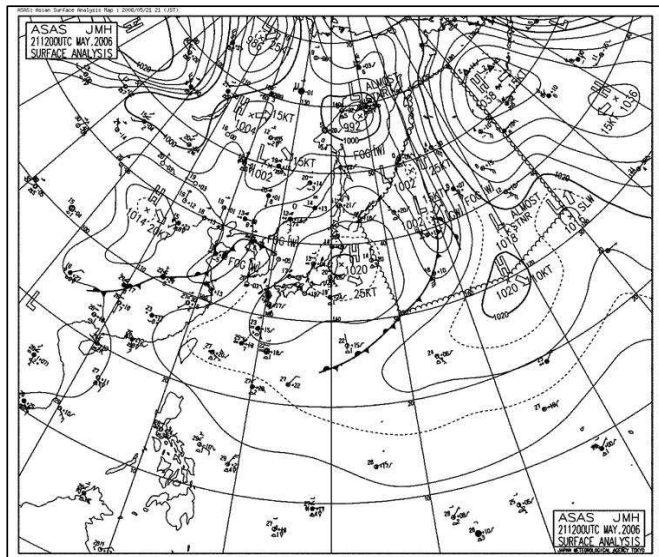
- ダクト発生による6～1エリア間オープンが確認されました。
- 23:34 JG2GKM -JM6WRH(鹿児島県奄美市) RS59+60 -59+
  - 23:36 JH2IHT -JM6WRH(鹿児島県奄美市) RS55 -55
  - 23:52 JS1ECQ -JM6WRH(鹿児島県奄美市) RS59+40 -59
  - 23:54 JH1CUW/1(東京)-JM6WRH(鹿児島県奄美市) RS59 -59

## 気象解析

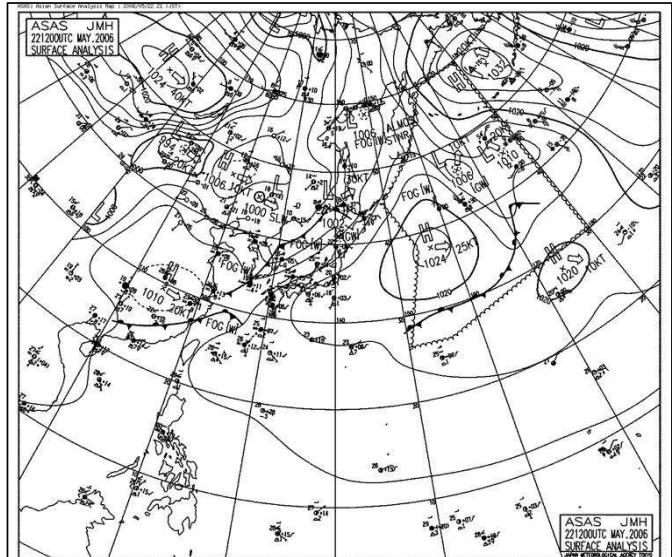
地上天気図から 21日から22日にかけて日本付近は勢力を強めた移動性高気圧に覆われたことがわかります。

## 地上天気図

21日21時



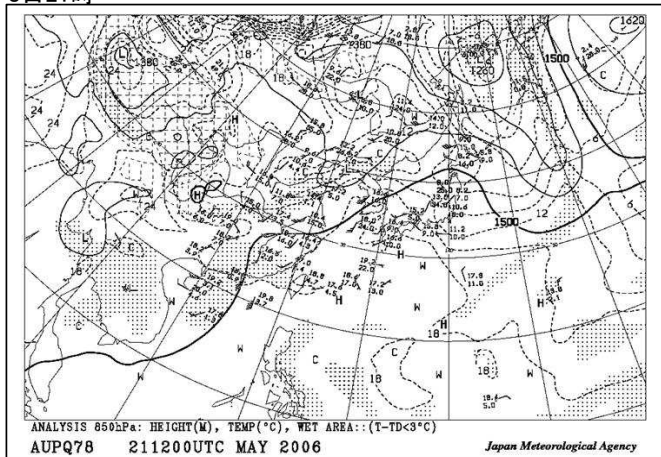
22日21時



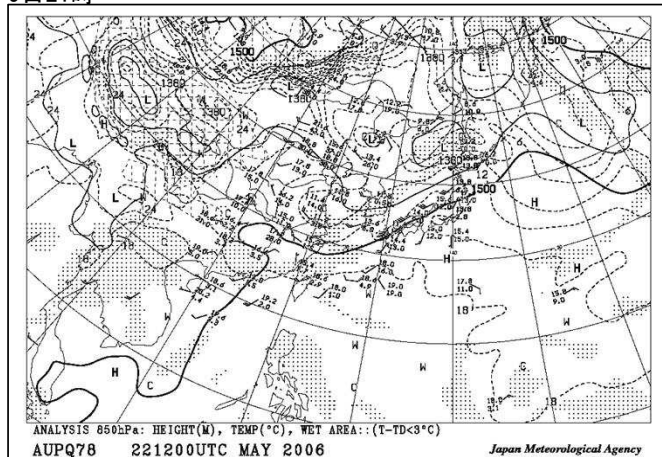
850hpa面解析図をみると、1,500mの等高線で囲まれた領域が21日には日本海中部、22日には本州南岸を横切っていて、この等高線の南側では湿数が10°C以上であることから乾燥空気が流れ込んでいたことがわかります

850hpa面高度・気温・湿数

8日21時



9日21時

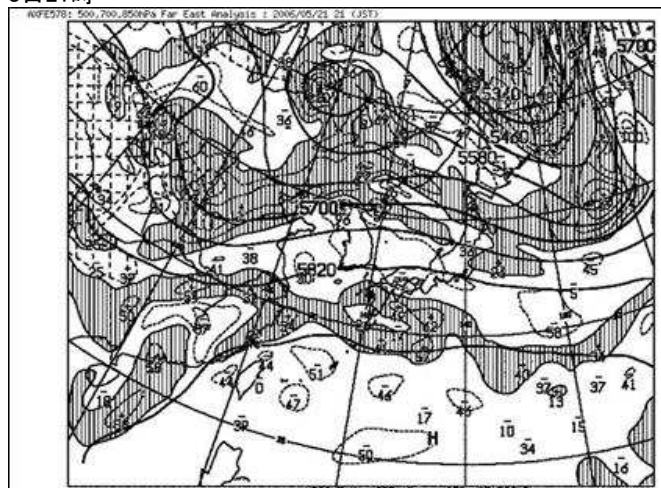


500hpa面の等高線の移り変わりをみると、21日から22日にかけてリッジが通過していて、リッジ°に伴う負渦度領域に覆われていたことがわかります。

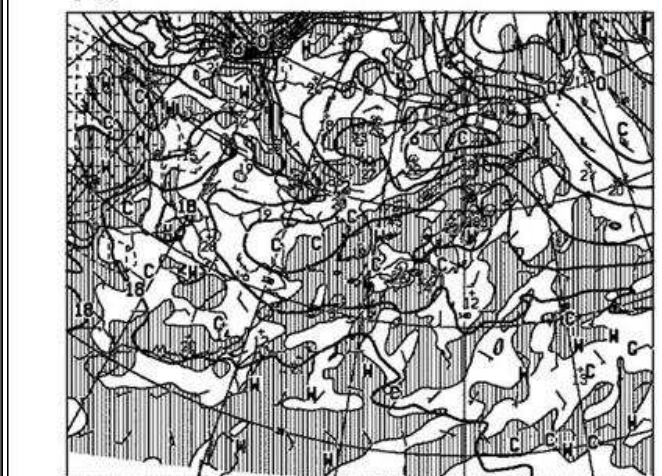
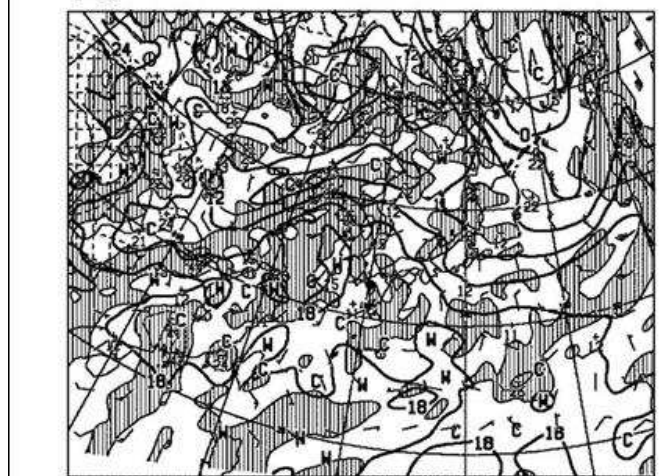
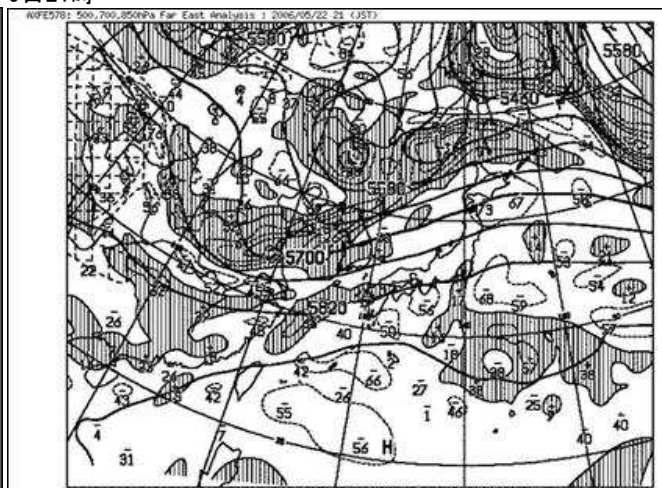
700hpa面解析図では鉛直流は上昇流の卓越か°見られますが、乾燥空気を伴った南からの暖気移流によって空気全体があたまったことによって上昇流が発生しているもので、ダクト形成に不利な条件ではないものと考えます。

500hpa面高度と渦度・700hpa面鉛直流と850hpa面気温

8日21時



9日21時





#### 21日のオープン

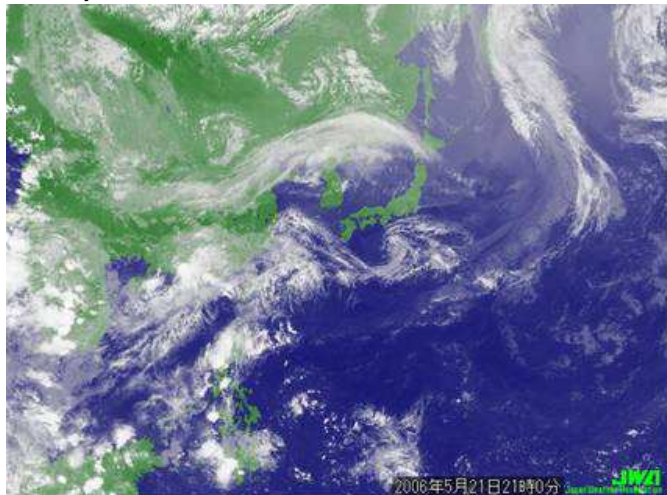
日本付近は勢力を強めた高気圧に覆われて、乾燥空気による下降流、リッジに伴う負渦度領域、気圧と高度の上昇によってダクト発生条件がそろいやすくなったと考えます。

#### 22日のオープン

本州の南海上では高気圧の勢力圏内で負渦度領域、乾燥空気、下降流域に覆われたことでダクト発生条件がそろいやすくなったと考えます。

【参考】 赤外線雲画像

8日21時



9日21時

